

## 本校の環境

本校は昔、宇治、木津、桂の三つの河川が合流して、巨椋池と呼ばれる一湖沼をなしたところにある。水深は1.5メートルと浅く、遙かかなたまで広がる蓮池に野鳥の群れが飛来する景観は、万葉集その他の詩歌文章にうたわれたものである。巨椋池は昭和の初期に干拓され、京都府南部の優れた穀倉地帯へと生まれ変わったが、本校はその中心に位置する。

昭和40年代以降の経済の高度成長に伴い、広大な干拓田にも都市開発の波が押し寄せ、向島ニュータウンをはじめ、小倉、槇島一带は大阪、京都のベッドタウンとして急速に発展した。今後、さらに高速道路網の整備に伴い、大阪、奈良、滋賀への交通の要として重要性を増す地域である。近辺には種智院大・京都文教大がある。

## 京都府立京都すばる高等学校 校歌

「はばたけ高く」

作詞 池田 綾香

作曲 櫛田 肤之扶(てつのすけ)

- 一 伏見の丘に 日は昇り  
希望あふれる学び舎で  
夢抱きつつ 鍛えあう  
高き理想を 手にするために  
ともに手を取り いざ進もう  
ああ はばたけ 京都すばる
  
- 二 巨椋(おぐら)の緑 雄大に  
笑顔あふれる若人(わこうど)の  
明朗寛容 忍耐を  
身につけ自己の 可能性  
ともに高めて いざ進もう  
ああ とびたて 京都すばる
  
- 三 宇治の流れに 育(はぐく)まれ  
古き歴史の町並みと  
豊かな自然に 囲まれて  
きらめく知恵と 技術を持って  
輝く未来に いざ進もう  
ああ われらが 京都すばる